

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	長谷川 大悟
担当業務	理事会、診療報酬改定対策強化推進部会、代議員ネットワーク検討部会 第 60 回日本理学療法学会学術研修大会準備委員会、災害対策支援マニュアルワーキングチーム、全国リハビリテーション医療団体協議会 前記に附帯又は関連する調査・調整等

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
7 月 6 日		第 3 回理事会	日本理学療法士協会会館
7 月 6 日		日本理学療法士協会役員勉強会	日本理学療法士協会会館
7 月 12 日		日本理学療法学会学術研修大会渉外部会議	オンライン
7 月 18 日		代議員ネットワーク検討部会 会長会議	オンライン
7 月 18 日		代議員ネットワーク検討部会 専務理事会議	オンライン
7 月 22 日		第 1 回全国代議員ミーティング	オンライン
7 月 22 日		第 2 回代議員ネットワーク検討部会会議	オンライン
7 月 23 日		第 1 回災害対策・支援マニュアル WT 会議	オンライン
7 月 24 日		日本理学療法学会学術研修大会準備委員会傍聴	オンライン
7 月 27 日		理事懇談会	オンライン
7 月 30 日		業務執行理事会傍聴	オンライン
8 月 9 日		第 2 回全国代議員ミーティング	オンライン
8 月 9 日		第 3 回代議員ネットワーク検討部会	オンライン
8 月 13 日		代議員ネットワーク検討部会 専務理事会議	オンライン
8 月 16 日		日本理学療法学会学術研修大会渉外部会議	オンライン
8 月 19 日	○	全国リハビリテーション医療団体協議会会議	オンライン
8 月 27 日		第 5 回業務執行理事会傍聴	オンライン
8 月 28 日		日本理学療法学会学術研修大会準備委員会傍聴	オンライン
8 月 28 日		第 2 回災害対策・支援マニュアル WT 会議	オンライン
8 月 31 日		理事懇談会	オンライン
9 月 5 日		第 4 回代議員ネットワーク検討部会会議	オンライン
9 月 10 日		常任理事会での中間報告	オンライン
9 月 10 日		日本理学療法学会学術研修大会事務局会議傍聴	オンライン
9 月 17 日		第 5 回代議員ネットワーク検討部会会議	オンライン
9 月 20 日		日本理学療法学会学術研修大会渉外部会議	オンライン
9 月 24 日		令和 8 年度報酬改定対策強化推進部会	オンライン
9 月 25 日		日本理学療法学会学術研修大会準備委員会傍聴	オンライン
9 月 30 日	○	全国リハビリテーション医療団体協議会会議	オンライン

所感	【診療報酬改定対策強化推進部会】 令和 8 年度報酬改定に向け、本会の重点要望方針等を議論している。机上空論とやらぬよう医療・介護現場で働いている知見を活かし、制度政策に落とし込めるよう微力を尽くす決意である。 【全国リハビリテーション医療関連団体協議会】 本会役員として参画している。9 つのリハビリテーション関連団体との情報共有や連携の中で、新たな地域医療構想等に関する検討などリハビリテーション全体の考え方を議論し、理学療法士業界ひいては、国民にとって有益な提案が出来るよう鋭意尽力する。 【災害対策・支援マニュアルワーキングチーム会議】 今後、大規模災害が予想される中、本会として実行可能なマニュアル作成は喫緊の課題である。本会の災害対策規定および活動要領（避難所以外の支援、JRAT における支援等）の作成を目標に、東日本大震災・関東東北豪雨災害・能登半島地震における災害支援経験を活かし、文書を列記するだけのマニュアルではなく、実践的かつ効果的なマニュアル作成に努力を重ねて参る。 【理事会】 市区町村担当窓口の設置について、その対応方針について意見した。市区町村窓口設置の大義については、群市医師会など他団体との連携を考えた上でも重要である。一方、他事業との整理と都道府県の実情に応じた対応策については現場の混乱が生じる懸念や士会の理解を得る必要があり、都道府県士会に丁寧に説明を行うことが重要である旨を発言した。窓口を設置に際し、その運営可否も踏まえ、都道府県士会に関して意向を把握し、情報的な発展も踏まえ、方向性を示すべきであることを提案した。 また、総会運営について、円滑かつ有意義に総会議事進行を行い、限られた時間をさらに充実したものとするため、代議員ネットワーク検討部会でのアンケート調査から提案いただいたものをいくつか紹介した。 【代議員ネットワーク検討部会】 部会長として、「会員の多様性を鑑み、既存のネットワークに留まらない、代議員を主としたネットワーク構築の是非」について検討し、「必要である」という観点からその手段を提案した。まず、定款上の代議員の位置づけを明記し、代議員の実態を調査した上で、当事者たる全国代議員からの意見を踏まえ、部会で議論を重ねた。 これまで代議員を主体とした会合は乏しく、一方向のみの伝達手段が主であり、双方向に意見交換が出来る情報共有の場が求められるが現在、これらに応えられる事業は存在しない。 ネットワーク構築に際しては、何らかの意見を取り纏めるのではなく、代議員の役割を正しく認識するとともに、社員としての役割を全うするための「情報共有」「意見交換」「学びの場」を目的とすることが望ましい。今回提案した内容は、代議員ネットワークの構築とその活用を通じて、協会全体の運営をより円滑に、かつ効果的に進めるための一助となることを期待する。 【日本理学療法学術研修大会準備委員会】 広報部および渉外部として準備を進めている。魅力ある大会を目指し、過去の準備委員としての経験を活かし、真摯に取り組んで参りたい。 【役員勉強会】 ハラスメント防止情報管理の重要性について、こういった取り組みが重要なのか
-----------	---

	啓発や研修の重要性について質問した。さらに予防策のほか、実際に事が起こった場合の対応策についてもご示唆いただき、協会運営において役立てて行きたい。 【業務執行理事会】 理事には発言権はなく傍聴と言う立場だが、それでもすべての会合において出席し、理事会等での建設的な議論・意見提起につなげていく所存である。協会のリアルタイムな動きを知るために傍聴は欠かせないと考えている。 その他、前期に関連する各種会合において、事前調査および調整等を行った。
報告日	2024 年 10 月 22 日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。